



TOHOKU
UNIVERSITY



平成 28 年 11 月 8 日

報道機関 各位

東北大学大学院薬学研究科
東北大学大学院医学系研究科

＜記者会見開催のお知らせ＞
妊娠高血圧腎症の新規治療薬
-流産早産の予防・胎児発育促進も可能に-

【概要】

東北大学大学院薬学研究科・医学系研究科の高橋信行准教授らの研究グループは、米国のノースカロライナ大学、ハーバード大学及びベイラー医科大学との共同研究により、水溶性ビタミンであるニコチンアミドが、妊娠高血圧腎症、およびそれに伴う流産・早産・胎児発育障害をすべて改善するはじめての薬であることをマウスモデルを用いて明らかにしました。

妊娠高血圧腎症は妊娠によって血圧の上昇と蛋白尿を認める疾患で、急速に悪化し、放置すると脳出血等による母体死亡や児の死亡をもたらす危険があります。妊婦に投与可能な降圧薬は、妊娠高血圧腎症による母体死を予防することが可能ですが、妊娠高血圧腎症の本態とも言うべき血管内皮障害による血管内腔の狭小化を回復しません。そのため、妊婦に投与可能な降圧薬による母体降圧は胎児への血流を減少させ、胎児の発育・生命に悪影響を及ぼすことが少なくありません。母児救命のために、妊娠を中止し、分娩を行わなければならない患者が多数存在するのが現状で、未熟児出産の原因となっています。本研究から、ニコチンアミドはマウス妊娠高血圧腎症において、これらをすべて改善するはじめての薬であることが明らかになりました。ヒト妊娠高血圧腎症患者においても母児の救命・児の発育に福音をもたらすことが期待されます。

本成果につきまして、下記のとおり記者会見を行いますのでお知らせいたします。ご出席いただける場合は、末尾 FAX 用紙を 11 月 11 日（金）まで下記問い合わせ先までお送りください。

記

- 日時：平成 28 年 11 月 14 日（月）10：00～
（記者受付開始時刻 9：30～）
- 会場：東北大学片平北門会館 2F エスパス

問い合わせ先

（研究について）

東北大学大学院薬学研究科臨床薬学分野

担当 高橋信行

電話 022-795-6807 E-mail ntakaha@m.tohoku.ac.jp

（報道、記者会見について）

東北大学大学院薬学研究科総務係

電話 022-795-6805 E-mail ph-som@grp.tohoku.ac.jp

会場案内図



東北大学大学院薬学研究科総務係行

F A X 番号 : 022-795-6805

記者会見取材申し込み票

ご出席に際しては下記 FAX にて、

11月11日（金）までに御返信ください。

開催日：平成28年11月14日（月）10:00～

会 場：東北大学片平北門会館 2F エスパス

御社名： _____

御所属： _____

御芳名： _____

媒体名： _____

御連絡先： _____

電話： _____ FAX： _____

Email： _____